

山行報告

■納山会^{しらがたけ}白髪岳・松尾山

● 日程 : 12月8日(土)～9日(日) ● 参加者 : 21名



■白髪岳コース

- 参加者 : L 和田 SL 森本 貝塚(文) 笹木 田中(重) 西川 藤原(浩) 舂賀
- 行動記録 : 往路バス住山分岐下車(10:40)10:45 発～登山口(11:10 着)11:15 発～ロープ岩場
12:00～12:10 通過～白髪岳(12:40 着・昼食)13:10 発～文保寺分岐 13:55～文保寺
(15:40 着・バス乗車)

◆白髪岳納山山行に参加して

藤原

私が参加した山行は、素晴らしい自然現象に出会うことが多くあったので、今回はどんな出会いになるだろうかと期待して臨みました。

天気予報では寒さが増すということでしたが、幸い風もなく穏やかな山行になり、パーティー全員が大喜びのスタートでした。檜、杉の立ち並ぶ保護山林の中を歩き始め、樺の多数ある通りを縫うように登りました。中に季節外れの樺の花は印象的でした。

山頂近くは岩場で登山道も狭く難儀な箇所もありました。今回はベテランの先輩ばかりでしたので何の苦も無く通過しました。

山頂は360度の山並みが見渡せる絶景でした。途中の案内板に、南側には六甲山系や瀬戸内海が見渡せるとありましたが、素晴らしい天候でしたので、はっきり見ることができました。



風の通る風景での食事は又格別の趣でした。昼食後お二人が詩吟を披露されました。山頂で朗々と謡われましたから聞く我々は感慨深いものがありました。

登りは順調でしたが、文保寺への下山道、途中道が不明瞭になり、予定時刻は近づくと確実下山道が見いだせないはで、一時パニックでした。

他のパーティーに心配や迷惑を掛けましたが30分くらいの遅れで目的地にたどりつけ、パーティー全員やれやれの山行でした。

新たんば荘の1泊は個性のある人々の山行経験談や人生談義等私の人生に加わる1ページになりました。

2日目は丹波篠山の歴史、風俗の探訪でした。“青山歴史村の版木館はお薦めですよ”の案内で入館しました。篠山藩の藩士教育のための漢学書印刷し刊行したという、桜を使用の版木1200枚余り所蔵は大変感銘を受けました。

丹波篠山デカンショ館共々篠山へ行くなら一度は訪ねたい場所ではないかと思われました。

この度は、山を歩く・仲間と歩く・歴史の街を歩くと同じ歩くにしても色々な歩き方があることに感動しました。今回も忘れられない思いでの山行になりました。

■松尾山コース

●参加者：L澤田(律) SL藤原(千) 大谷 木村 高島 徳本 松下

●行動記録：住山分岐 10：40～卵塔群(12:00 着)12:10 発～千年杉 12:20～松尾山山頂(12:30 着)13:00 発～肩越の辻 13:20～文保寺(14:00 着)15:40 発～新たんば荘(16:10 着・泊)

◆納山会松尾山コースに参加して

徳本

初めて納山会に参加しました。三つのコースがありました。私は、松尾山コースに参加しました。登山口近くでバスを降りて、準備運動をしました。歩行時間は、4時間半ぐらいだと聞いていたので気持ちにゆとりがありました。

登山口からはなだらかな坂の登山道でした。少し歩くと沢に出ました。丸太が2本かかっていました。途中が少し朽ちていたので恐る恐る渡りました。少し登って行きました。

今度は、右側が谷になっていてよろめくと転げ落ちそうな登山道でした。落ちないように片側に重心をおいて歩きました。不動の滝がありました。11月に行った大普賢岳を思い出しました。山の中の登山道を登って行くと沢の上の登山道に出ました。

下は沢になっているので用心しながら歩きました。阿弥陀堂跡に着きました。不動の滝があったので、昔の僧が修行をしていたのかと連想しました。ここには、白髪岳・松尾山に行く案

内の看板がありました。松尾山には、明智光秀に攻められた酒井家の城跡があることを知りました。

少し行くと本堂跡がありました。また、少し行くと卵塔群という卵の形をした塔がたくさん並んでいるところがありました。ここのお寺の歴代のお坊さんのお墓だそうです。史跡を見学しているようでした。

しばらく行くと、とても急な登山道に出ました。設置されているロープをもって登って行きました。今度は、石垣が崩れて急な登山道を登って行きました。城跡なので昔のお城の石垣が崩れているのかと思いました。とっても疲れました。もう足が上がらないと思ったところでやっと平地に着きました。やっと着いたと喜んでいたら違っていました。しばらく歩くと千年杉がありました。千年杉を過ぎて尾根を歩きました。やっと松尾山頂上に着きました。ここでお昼を食べて下山です。文保寺目指して出発しました。



下山の道は、整備されていて歩きやすい登山道でした。こんな道が続くのかなと喜んでいて違っていました。急な坂に設置されているロープをもって下ったり、沢に落ちないようにロープをもって下ったりとちょっと危険なところがありました。登山道から文保寺に行く道を歩いて行くと文保寺の屋根が見えてきました。とてもきれいなお寺でした。横には大きなイチョウの木が立っていました。

4時間半の山行でしたが、変化とスリルのある登山道でした。リーダーさん 同行のみなさんお世話になりました。有難うございました。

■音羽山コース

●参加者：L 砂川(延) SL 待場 佐々木 砂川(美) 廣岡 矢根

●行動記録：山電高砂駅 8:30～JR 宝殿駅 8:45～JR 加古川 9:05～南矢代奥池広場 10:50～林道尾根分岐 11:20～南矢代分岐 11:50～音羽山(12:10 着)12:40 発～南矢代分岐 12:50～肩越の辻(13:10 着)13:20 発～文保寺(14:00 着)

◆納山会(音羽山コース)に参加して

砂川(美)

あまり厳しい山行には参加できなくなり、それでも納山会には毎年参加している。

送迎が楽な事や親睦を深めるいい機会です。

今年も一番楽そうな3コースです。南矢代奥池の広場までバスで送ってもらい、風もなく、ひんやりとした檜や杉の林道を歩き始める。大きな樹林帯を上下に切り開いて林道をつけた様で、昔だったら馬や人力で木を下ろしただろうけど、車道が必要になったと思われる道だった。すっかり葉を落とし明るくなった尾根筋まで、やっと登り音羽山まで行く。汗をかかずもなく、いい登山日和で、ほっこりとした中での昼食です。

見晴らしも良く、去年登った多紀連山を眺めながら、肩越の辻で2コースの人達とも会い下山開始、2コースの人達は、さすがに足が速い。短いと思っていた文保寺までの道は荒れていて、苦戦した。

夜も少人数だったので、まとまりも良く、おいしいポタン鍋で楽しい時間でした。

翌日は、お昼まで武家屋敷跡を散策、昔の人の長期を見据えた木の文化と計画性、そして今も、その文化を守ろうとしている篠山の人達の気概をつくづく感じた。

お正月用の黒豆や、とろろいもも購入、買い物ツアーを兼ねた楽しい納山会でした。

■ きぬがさやま 織山(滋賀県)432.7m

いのこやま 猪子山から織山へ湖東の景色を楽しみながら歩く

- 日程 : 12月15日(土)
- 参加者 : La 瀧原 SLa 尾内 阿部 泉 高島 藤本 藤原 矢根 山本(清)
Lb 澤田 SLb 須増 島谷 田中(重) 徳本 橋本(健) 橋本(万) 本田 松井 村上
- 行動記録 : 能登川駅(9:41着)9:55発~猪子公園登山口(10:10着)10:20発~北向岩屋十一面観音(10:45着)10:55発~猪子山山頂 11:00発~雨宮龍神社(12:00着)12:20発~地獄越 12:35発~織山山頂(13:35着)13:40発~北腰越 14:40発~文芸の郷(14:50着)15:05発~安土駅(15:40着)15:51発

◆入会第一回目のきぬがさ山山行に参加して

阿部

12月5日の予報では曇！初めての電車移動で下車した能登川駅では小雨でしたが、猪子町の公園に着く前に大粒の霰に変わり、今日はどんな山行になるのかな・・・少し不安な気持ちで歩き始めました。

登山口から少し歩いた所で、巨岩に色々な呼び名をつけていて、モアイも見ることが出来ました。距離を稼ぐために階段を登って小休止の場所から景色を眺めると、琵琶湖まで見えました。暫く登ると、猪子山に到着。標識に猪の絵があって綺麗に描かれていたのを見て一足先に皆で正月気分になりました。丁度12時に、雨宮龍神社に到着。20分のランチタイムで、初めてサーモスのお湯で、インスタント豚汁を作り、おにぎりと一緒に急いで食べました。皆さんと一緒に食べると美味しさも増しました。「次に目指す地名が“地獄越”という事は、一度地獄に落ちるのね。」とか「地獄はまだかな。」と、同期の友人と冗談を言いながら楽しく足を運んで行きました。思ったよりスムーズに地獄は越えられました。



さあ地獄を越えたらここからが本番。きぬがさ山へ出発です。足元は、地元の方々やボランティア団体の協力で、とても歩きやすく整備されていました。小雨のせいで滑り易くなっていましたが1人も怪我なく、本当に皆さん健脚ですねえ。登り降りは何回繰り返したか、数え切れませんでした。何とか到着。頂上はとても狭く、木に囲まれて、眺望は残念ながら良くな

かったです。でも、頂上につくまでに、木を伐採していた所からの景色を眺めながら歩いていたので満足でした。下山し始めたら、霰が又、降り始めましたが、直ぐに止んだので助かりました。登りに比べると、何て下りの速い事。安土城考古博物館の横の公園のトイレを借りて、帰り支度を整えて安土駅へと歩きました。

この山行で、感じた事を少し書いてみますね。ゆっくりリズムと聞いて申し込みをしましたが、右膝に少し不安があつての参加でしたので当日、本番まで心配でした。登り始めてみると本当に登りは、歩調のリズムが頂上まで変わることなく、歩き易かったです。又、少し見晴らしが良いと足を止めて景色を眺める事が出来ました。

今まで4年間登ってきましたが、こんなに、ゆったりとした気持ちになったのは初めてでした。それと、びっくりしたのは昼食の時間の20分でした。豚汁を飲んで身体を温め、おにぎりも急いで食べて、やっと追いつくみたいな感じで必死でした。

先輩方は、何をやるにも手早くされていたので、これからは見習わないといけないと思いました。

ひとつ良い事がありました。個人で登山していた時は、ストックを使うのが当たり前と思っていましたが、姫路教室で勉強した後、今回は最後までストック無しで歩けました。大きな収穫でした。

最後に、瀧原リーダー、澤田サブリーダーをはじめ、会員のみなさまには優しく声かけをして頂き、お仲間に入れて頂きありがとうございました。ゆっくり体力向上に努めて参りますので、これからもよろしくお願い致します。

■クリスマス山行 六甲・黒岩尾根から摩耶山

下山後 ZAKOBA で Xmas 会



- 日程 : 12月23日(日)
- 参加者 : La 砂川 SLa 島谷 大谷 小田(昌) 乙坂 兼澤 黒本 高島 田中(重) 谷口 清水
Lb 和田 SLb 三木(悦) 土井 田羅間 平井 福田 藤本 森本 山本(清)
- 行動記録 : 新神戸駅 9:05 発～桜茶屋(9:50 着) 10:00 発～地藏谷出合 10:15～黒岩尾根ピーク 11:25～摩耶山・掬星台(12:45 着) 13:10 発～地藏谷出合 13:30～学校林道出合 13:55～ハーブ園出合 14:15～ハーブ園(14:25 着) 14:40 発～布引貯水池 15:00～新神戸駅(15:25 着)

◆クリスマス山行(六甲黒岩尾根)

乙坂

一年の締めくくりとして、クリスマス山行は出来るだけ参加しようと考えていて、去年は足のケガの為参加出来なかったのが、二年ぶりの参加になります。



この時期いつもならダウンジャケットと巻きスカートで身を包み、完全防寒の私ですが、今日はかなり暖かく少し身軽、4月ごろの陽気だったようです。

黒岩尾根はひたすら登りが続く山道ですが、日影が多くこの日の暑さには清々しく気持ちよく歩けました。お昼は掬星台でささっと済ませ、さあ下山。

午前中は青空が見えていたのに、下山になると白い雲が被い何だかポツポツとしていました。さあ次は、目指すは ZAKOBA！途中のハーブ園ではクリスマスイベントが行われており、サンタクロースと写真を取りました。登山道の途中であるハーブ園はタダで入場できお得ですね。

下山後は ZAKOBA で乾杯をしました。食事をしながら、みなさんの意外な一面を知ることが出来、楽しいひと時でした。

リーダーの砂川会長、和田さん、皆様、ありがとうございました。

■天狗山(岡山県備前市)392.3m 下山後“牡蠣おこ”を食べよう！

● 日程 : 12月26日(水)

● 参加者 : La 尾内 SLa 安田 笹木 徳本 松下 矢根

Lb 垣内 SLb 上田 橋本(万) 平石 待場 村上

Lc 砂川(延) SLc 島谷 阿部 有本 泉 内海 小田(敏) 川上 山下(純)

● 行動記録 : 寒河駅(9:17着)9:35発~八幡宮登山口(9:40着)9:55発~「頂上まで1.2キロ」の標識(10:20着)10:25発~前山(小天狗)(10:55着)~天狗山山頂(11:05着)11:30発~東峰(11:50着)~西峰(12:05着)~奥池(12:20着)~西登山口(12:50着)~タマちゃん・お好み焼店(13:10着)14:34発~寒河駅(14:35着)14:55発

◆岡山県・日生の天狗山山行に参加して

泉

年末の12月26日(水)備前日生の天狗山に登り、カキオコを食べて帰る山行に参加しました。天気予報は曇りでしたが朝から今にも降り出しそうな雲行きに寒さも加わり不安でした。

でもJR網干駅から赤穂行きの電車に乗り込み、姫路駅からの皆さんと合流して顔を見てお喋り始めたら不安は薄らいでいきました。

赤穂駅で、備中高梁行きに乗換え定刻に寒河駅に着きました。無人駅です。

やっぱり雨!!駅のホームで雨具を着て少し歩いた登山口の近くで準備体操。

ABCの3班に分かれて、いざ出発! A・Bは速いペースで登る班です。私は勿論ゆっくりペースのC班です。

上り始めて間もなく雨はやみ、陽射しが体温をあげてきます。雨具の中は汗びっしょり、少し開けた所まで上り休憩をして雨具を片付け再び上り始めました。後方から「瀬戸内の景色が綺麗やで！」との声が聞こえ振り返ると、白く霞む島々の間に見える波ひとつ無い鏡のような瀬戸内の海面を一隻の船がスーッと進んでいくのが見えました。幻想的な眺めでした。



その後は急な岩場が続き、所々ロープが設置されていて思った以上に急な山道に自分の足元を確かめながら歩くのに精一杯でした。

暫らくして「ワァ山頂だ!」と思ったのは手前の小天狗山でした。気を取り直して392.3mの天狗山山頂までもう一頑張りです。

頂上では先発のA・B班の皆さんが昼食休憩をして待っていてくださいました。私達も昼食と笑顔の写真を撮って下山スタート。ロープのある急な下りもスリル満点だね!なんて笑顔だったのもつかの間、急な坂と粘土質の滑りやすい土に足をとられヒヤヒヤで口数も少なくなり高く生い茂ったシダを掻き分けながら進みました。

9月から入会の新人にとっては、とどめは溪谷の濡れた岩場をロープ伝いに下りていくと言う想像以上のスリルにびっくり!! やっとコバルトブルーの池を横に見ながら下道に出てきたときはホッとしました。

あと17分でカキオコの店ですよ!と言う掛け声に皆さんの足が速くなりどんどん追い抜かれていきました。

カキオコの店を目前に残念ながら私は膝の診察があり、皆さんと別れて一人寒河駅に向かいました。13:55発の上り電車を待っていると地元の人が声を掛けてくださり、「山で猪は出なかったか? 今年は多くて78頭も仕留めた」と話され「この駅にもよく猪が来てホームに居るで」とおっしゃいました。



また、ダニにも気をつけたほうが良いからと。足元のカバーをしたままだった私を見てこれなら安心だと言ってもらいました。

食べられなかったカキオコはとても美味しかったようで、幸せそうな皆さんの写真がラインで届きました。

赤穂で乗換え相生に近づいた電車の中で、私も幸せを分けてもらいました。無事に皆さん下山し今年を締めくくる山行が出来た事に感謝します。

■元旦御来光登山 in 高御位山

2019.1.1



●参加者：12名

尾内 河崎 木下 切貫 佐々木 澤田(卓) 澤田(律) 砂川(延) 増田 三木(悦) 森本
山下(雅)

◆御来光登山報告

砂川(延)

午前6時、長尾新池駐車場集合。例年の集合場所である。今年は誰がやってくるかな？と期待と不安がいり混じる。家を少し早く出たせいか午前5時30分過ぎには到着していた。

駐車場はすでに満杯に近い状態だ。登山靴に履き替え外に出ると、あちらこちらでグループが登山準備をしている。西側の運動場の側にベンチのある屋根の下で待ち構える。

まだ夜明け前のこともあり、誰かと認定するには、直ぐ傍でないと見分けられない。

運動場との仕切りの柵に会旗を吊り下げ待ち構えるが、誰の顔もまだ見えない。

しばらくすると0女が現れ、次々集まってくる。集合時間になったので出発する。

後でストレッチをすれば良かったと気が付いたがそのまま出発していく。

高御位山を仰ぐとランプの明かりが点々と見えている。成井、北山の合流点に来ると、神社に上がる岩盤の上も、日の出を待つ人々で、通る隙間もなく、思い思いに座り込んでいる。時間を見れば、まだ30分以上待つことになる。

社務所に上がり、長谷川さんを探すが見つからないので社務所の受付で聞くと、今年は上がっていないと言われ代わりの方に初穂料をお渡しし、ご神酒をそれぞれ頂く。

いつもの場所に移動して、ご来光を待つ。ここ数年来、居る所もないほどにご来光を待つ人々が多い。

すでに東の空は赤く染まっている状況であるが、ご来光が上がる時間には少し早い。

今年は良い天気、ご来光の上がる彼方の山裾には雲一つなく、少し上に横たわる雲下が少し赤く染まっている状況だ。7時6分過ぎに上がり、周囲からは歓声が上がっている。

例年どおり、記念写真を撮り、その場で現地解散とする。高御位山を縦走し鹿島神社へ、成井へ、北山、長尾駐車場へとそれぞれ下山を今年、山初めのご来光登山でした。

■新春トレーニング山行高御位山～桶居山

● 日程 : 1月3日(木・祝) ● 参加者 : 27名 ● 歩行時間 : 約7時間

■1班

● 参加者 : L平井 SL安田 小田(敏) 木畑 高島 砂川(延) 村上 清水 橋本(健)

● 行動記録 : 長尾駐車場 9:15 発～高御位山(9:55 着) 10:10 発～桶居山分岐(10:45 通過)～桶居山(12:35 着) 12:50 発～別所中池(14:10 着) 14:20 発～鹿島神社 15:30～長尾駐車場(16:05 着)

◆初めての新春トレーニング

小田(敏)

昨年に入会して、初めての新春トレーニングです。今年のスタートとして13km完歩出来れば、自信が付いて色々な山に挑戦できるのではと思い参加しました。

当日、ピリッと冷えた朝でしたが、長尾新池駐車場に着いたときには、暖かくなっていました。ウインドブレーカーもリュックに入れ、軽快に歩き始めました。

高御位山頂からは、遠くの山に少しだけ雪が積もっているのが見えました。真っ白になっているのを期待していたのにちょっぴり残念です。



高御位山を後にして、桶居山を目指す。分岐からは、すれ違う人もほとんどいない静かな山道を急な上り下りを繰り返しながら滑らないように慎重に進んでいった。

三角おにぎりのような桶居山が見えた。急な岩肌を必死で登り、頂上に着いた時は、ホッとしました。頂上での風が心地良かった。冬なのに風が冷たく感じない穏やかな天気恵まれ最高でした。

桶居山から別所中池まで下りてきた時には、もう終わった気分でした。池の水面に太陽が反射してキラキラと光り輝き、私にパワーをくれたのか、身体はまだ元気だった。もう一度ストレッチをして、再び山登りです。いくつかの小山を上り下りして、いつものルートに出た時には、皆が笑顔になった。百間岩を下り何とか鹿島神社に着いた時には達成感で満ち溢れていました。

家に帰ると、疲れがどっと出て放心状態でしたが、これで自信が付いたので、今年1年チャレンジしていこうと思います。

■2班

● 参加者 : L瀧原 SL赤木 大谷 木下 佐々木 澤田(律) 谷口 矢根 山下(雅)

● 行動記録 : 長尾駐車場 9:15 発～高御位山(10:00 着) 10:10 発～分岐 10:45～鉄塔(11:50 着) 12:15 発～桶居山(12:40 着) 12:50 発～240m鉄塔ピーク(13:15 着) 13:20 発～別所奥山(14:10 着) 14:25 発～長尾駐車場(16:05 着)

◆新春トレーニング山行に参加して

山下(雅)

新しい年を迎え、今年最初のトレーニング山行に参加しました。前に一度参加した事があったので、今回は二回目になります。

当日は、天気も良く最高の山行日和のなか集合時間に遅れないように早く家を出たつもりだったが、ほとんどの人が早くから来ていたようだ。時間になりストレッチや、班分け、役割を決めて登山開始となった。

高御位は、今年の御来光の時に登っていたが、上までの登りはやはりしんどかった。高御位山頂で少し休憩時間を取ってから次へと向かった。ここから分岐までは、何度も通り慣れているのでいいが、分岐から先は、久し振りになる。分岐からは日当たりの悪い下り坂もあり、滑らないように気をつけながら進んでいった。桶居山手前の鉄塔の広い場所で参加者が揃い昼食を取るようになった。

昼食後、各班が順番に桶居山へと向かった。桶居山は、足場が悪く前の人について気をつけながら進んでいった。そして頂上で集合写真を撮ったあと順番に下山していった。

ここまでは、何度か来たことがあったので大体わかっていたが、別所方面は、前に一度だけ行っただけでそんなに長いような距離ではないように思っていたが、いざ歩いてみると池に着くまでの距離やそれから先の合流地点までが、思っていた以上に長い道のりだったなと思った。



それから鹿島神社に出て 参道を通り駐車場へと向かいそこで、皆でストレッチを行い解散となった。今回の山行でお世話になったリーダーやご同行の皆さん、どうも有難うございました。

■ 3班

● 参加者 : L 須増 SL 藤原(千) 上田 垣内 田中(重) 中村 藤原(浩) 待場 和田

● 行動記録 : 長尾駐車場 9 : 15 発 ~ 高御位山 (10 : 00 着) 10 : 05 発 ~ 桶居山分岐 ~ 3 7 番鉄塔・昼食 (11 : 55 着) 12 : 15 発 ~ 桶居山 (12 : 40 着) 12 : 50 発 ~ 3 7 番鉄塔・休憩 (13 : 15 着) 13 : 20 発 ~ 鉄塔のある 2 4 0 m ピーク 13 : 30 ~ 別所中池・休憩・ストレッチ (14 : 15 着) 14 : 20 発 ~ 2 0 9 m ピーク (15 : 00 着) 15 : 05 発 ~ 別所奥山 ~ 長尾駐車場 (16 : 15 着)

◆ 新春トレ3班感想文

垣内

新春トレにはできるだけ参加してこの1年山へ登れるかを確認しています。高御位神社と鹿島神社のお賽銭をポケットに入れて今年も参加できた新春トレです。

去年は同じ鉄塔の下で弁当を食べたが雪のふりかけをいただいたな～と思い今年の暖かさに感謝し弁当を食べた。私はリュックを鉄塔に預け桶居山に登りました。

山頂では吹く風が心地よいと思うお天気です。

南には海に浮かぶ島々が北には少し雪を冠った山も遠くに見え身近な笠形山も善防山も確認できる眺望でした。

約7時間の山歩き昨年より少し時間がかかったかな～と思う時間でしたが、駐車場に無事帰ってきました。

須増さん初め共に歩いた皆様有り難うございました。今年もよろしくお祈りします。